

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要】

事業所番号	4077300194
法人名	医療法人聖峰会
事業所名	グループホームひまわり 3 号館
所在地	住所:福岡県うきは市吉井町福益 121-2 電話番号:0943-76-4520
評価確定日	令和 8 年 3 月20日

【事業所が力を入れている点、アピールしたい点】

自業所は耳納連山の麓に立地していて周囲には柿畑が広がっている。広々とした窓からは室内からでも四季の移り変わりを感じることができる。入居前からのかかりつけ医と連携を大切にしながら、夜間や緊急時には母体の医療機関との連携体制がとれる。地域の行事にも積極的に参加している。研修関係においては、うきはブロック会（GH 部会）をはじめ法人内外の様々な研修機会を確保し、スタッフの資格取得とスキルアップに努めている。法人の理念である「地域のために・地域とともに」のもと、地域との交流、地域の方々との関わりを大切にしている。

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	地域密着型サービスとしての意義を理解し事業所独自の理念を全職員で作り、毎日の朝礼の際に全員で唱和している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	今年度は西福益に住所のある入居者は敬老会に参加することが出来た。本年度も、職員が道路愛護（春・秋）に参加した。	入居者・職員との交流は限定的なので日常の散歩等で交流を図りたい		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入居状況や行事予定、協力依頼等を行いながら、民生委員・自治会長のアドバイスや行政の方の意見を聞き入れてサービスの向上に活かしている。	報告はできているが、積極的な意見交換ができるような内容を検討していきたい		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	運営推進会議にて入居状況や行事について報告をしている。その際に行政の方の意見を参考にしてサービスの向上に努めている。	必要に応じて協力はできている		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	身体拘束に関しては全職員が意識をもって取り組んでいる。日中の玄関施錠は行わず、人感センサーやチャイムで対応し、転落防止のために低床ベッドを使用している。ベッドや車椅子への抑制もしていない。		☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	法令上決められた研修会を実施し、身体拘束は行っていない しかし対応が出来ず「ちょっと待ってください」等のスピーチロックは完全にはなくなっていない
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	研修や勉強会の機会を定期的に確保している。虐待については継続的な勉強と復習が必要であり、職員同士もお互いに注意し合えるようにしている。		☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	虐待については常に意識する事が大切であるため、勉強会の実施やアンケートを通してお互いのケアを評価しあうことが必要

				今年度からはリビングにカメラも設置した。			
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている ■. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	権利擁護と成年後見制度については、事業所内勉強会や外部の研修会へ参加している。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	■. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事前に見学をしてもらい、生活の状況や料金の説明を行っている。また入居時には改めて説明を行い、制度改正、報酬改定時にはその都度文書で説明、同意をとっている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	■. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の面会時に説明をすることで要望を言ってもらいやすい環境作りを行っている。また玄関には意見箱を設置、苦情相談ポスターを掲示している。		■. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部評価のご家族アンケートで色々な意見を頂けた来期に活かしていきたい
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている ■. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営に関する職員の意見や提案を管理者は、日頃から話しやすい雰囲気作りを行い、人事考課時の面談やミーティング時に意見を聞く機会を設け反映させている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている ■. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回人事考課を行い評価している。また業務に必要な資格などは、積極的に取得するよう勧めている。キャリア段位制度や夜勤手当の見直し、特定介護職員処遇改善を取り入れ、職員個々の意欲向上に繋げている。		A. 充分にできている ■. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各職員がやりがいや楽しみを持てるような業務改善が必要有給をしっかりと付与できるように努めたい

12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	☒ . 充分にできている ☐ . ほぼできている ☐ . あまりできていない ☐ . ほとんどできていない	代表者は法人内外の研修へ積極的な参加を促している。管理者はこれを周知し勤務の調整を行いできるだけ外部の研修にも参加できる機会を設けている。		☒ . 充分にできている ☐ . ほぼできている ☐ . あまりできていない ☐ . ほとんどできていない	研修の参加については偏りがあるのでできるだけ多くの職員が参加できるように働きかけていく
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	☐ . 充分にできている ☒ . ほぼできている ☐ . あまりできていない ☐ . ほとんどできていない	グループホーム部会の交流会に参加し理解を深め、法人の介護部研修に参加して他事業所との交流や意見交換を行っているが本年度もコロナ禍で実施されなかったが、人員不足時の応援に行く応援に来てもらうことで結果的に交流することが出来た。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	☐ . 充分にできている ☒ . ほぼできている ☐ . あまりできていない ☐ . ほとんどできていない	介護する、されるといった関係ではなく一緒に過ごし支え合うように努めている。また本人を良く知ろうという姿勢で関わることを大切にしている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	☒ . 充分にできている ☐ . ほぼできている ☐ . あまりできていない ☐ . ほとんどできていない	友人や近所の方々は時々面会に来られている。また本人の行きつけの場所（美容室等）には家族への協力依頼や職員が連れていけるようにしている。	制限は設けていないが、入居が長くなるにつれ、なじみの関係は薄れてきている		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	☐ . 充分にできている ☒ . ほぼできている ☐ . あまりできていない ☐ . ほとんどできていない	日頃の会話を傾聴し表情や身体的変化の観察を行い本人の思いの把握に努めている。また電話やメールを使った連絡と毎月の事業所便り、面会時等に情報交換を行うことで本人の思いや意向を確認している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意	☐ . 充分にできている ☒ . ほぼできている ☐ . あまりできていない	本人の状態や家族からの情報からアセスメントを行い、定期的な担当者会議をもとに個々の介護計画書を作成している。状態に変化が	介護計画書の更新はできているが、家族からの情報は得られにくい状態となっている	☐ . 充分にできている ☒ . ほぼできている ☐ . あまりできていない ☐ . ほとんどできていない	ご家族への働きかけと全ての職員が提供しているケアについて前向きな意見を出していけるような環境整備が必要

		見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	D. ほとんどできていない	あった場合には速やかに見直し変更をしている。			
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別に日常生活の記録を行っている。職員全員が情報の共有を行い、統一したケアが行えるようにしている。また介護計画書の見直しや変更にも活用している。介護記録は令和4年1月からはタブレット入力としている。		☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	記録はタブレットを使用しており、だれでも閲覧できるようになっている 申し送りノートや活用し情報の共有も出来ている
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々のニーズにあったサービスの提供を心がけている。必要に応じ医療保険のデイケアを利用されている方もおられる。	ご家族の要望があれば対応している 利用できるサービスの紹介や手続きの支援も行っている		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	☒ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域資源を活用した活動はあまりできていない。ドライブへ出かけたりする程度に留まっている。	職員不足もあり思い描いていたサービスの提供が十分にはできなかった		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前より利用している病院を継続して受診している。また受診の際には職員が同伴し主治医へ状態の報告を行っている。訪問診療を受けている入居者もいる。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	協力病院と月に2回情報交換の会議に参加し医療機関の看護師や医療相談員と日頃から連絡を取り合っている。入院中に安心して治療が受けられるよう数日おきに情報収集を行っている。		☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	協力病院だけでなく個人病院の先生ともしっかりとコミュニケーションは取れている
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない	家族の意向に添った介護を行い要望があれば看取りまでの介護を行っている。看取りを行う場合		☒ A. 十分にできている B. ほぼできている	入居時に意向確認を行っている 訪問看護とも協力し、重度化した場合や看取りも行っている

		十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	D. ほとんどできていない	は、主治医より終末期の病状説明と館でできることの説明、必要に応じて訪問看護等の説明も行い了解を得ている。 今年度は看取りを行った。		C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入職時の新人研修で救命講習を行っている。また外部での研修では消防隊から直接指導を受け、緊急時に適切な対応ができるようにしている。本年度は新人研修時のみの実施となった。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回の火災訓練を行っているが、地域との合同訓練は実施できていない。自然災害に関しては、BCP計画で決めている机上訓練を実施した。	訓練は実施しているが、全職員の参加はできていないので全職員が参加できるように調整したい	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員にも内容を周知し、実行していく
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃から個人を尊重した声かけや対応ができるよう努めている。言葉遣いの悪い場面を確認した時は管理者、ユニットリーダーが個別で指導を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	勉強会を通して適切なケアの提供や関わり方について指導指定していく
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々のペースにあった介護を行なうように努めている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食べやすい様に軟らかめに調理した食事を提供している。嚥下状態の悪い方にはトロミ剤を使用、ソフト食の利用やミキサー、キザミの形態にしている。テーブル拭きや配膳、下膳などは職員と一緒にやっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の栄養状態によって内容も工夫している 管理栄養士によりしっかりとカロリーは管理されている

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	食事量、水分摂取量は毎回確認して記録をしている。食欲が低下した時は、主治医と相談し高カロリー補助食品や飲料の提供を行っている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎食後には口腔ケアを行い、出来ない方には一部介助、又は介助をしている。義歯のある方は毎日夕食後に職員が洗浄剤につけ翌朝装着してもらっている。また法人の歯科より無料での歯科検診を依頼することができる。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	口腔ケアは毎食後しっかりと行っている状態に応じて歯科受診や訪問歯科を受けている
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	個々の排泄パターンを把握して、トイレ誘導や介助を行っている。また尿量に応じて適切なサイズのパッドを使用している。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	尿意の有無によって個別に対応できている オムツについては入居者の負担が軽減できるように状態に応じた物品を提供している
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	週2～3回の入浴を行っている。汚染や個人の要望があればその都度対応している。人員や安全面の関係から夜間の入浴は行っていない。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	夜間はゆっくり休んでもらえるよう寝具や照明の調整をしている。日中はできるだけ離床して活動的に過ごせるよう、リビングで過ごしてもらう時間を作っている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	主治医の指示に従い服薬している。薬の説明書はカルテに綴じいつでも確認できるようにしている。服薬時には、日付と名前を確認し間違いや誤薬がないようにしている。また気になる症状があれば受診時に主治医へ報告している。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	処方変更時は確実に情報共有している 服薬時は職員同士、入居者に確認してもらうなど誤薬防止にも努めている

35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている ■. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム内で楽しんで頂けるような月間行事の計画を立て実行している。役割意識が持てるよう家事のお手伝いを日課とされている方や軽作業に毎日取り組まれている方もおられる。天気の良い日には中庭で外気浴を行い、気分転換を図っている。	全ての入居者のニーズには応えれてはいないので、個々の状態に応じたレクの提供が必要		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている ■. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ドライブや買い物への外出支援を行っている。外来受診へ行く際にドライブも兼ねたりしている。	ご家族との協力も個人差があるので十分とは言えないが、対応できる範囲内では対応できていると思う		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている ■. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人による金銭管理は難しいため、家族より小口預り金として金銭を預かっている。毎月出納帳を郵送し、使途を確認してもらっている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	■. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年賀状が届いた時は本人へお見せして部屋の本人が見えるところに飾っている。電話に関しては、職員が希望時にかけて会話してもらっている。ZOOMやFACE TIMEの利用も勧めている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	■. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関には季節感のあるものを掲示し、下駄箱には個人の履物がわかるように名前を張っている。リビングにはソファを置き自由に使えるようにしている。また中庭へは自由に出入りが出来るようにしている。		■. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	空調や外光など心地よい空間作りを心掛けている 館内にも十分なスペースがあり閉塞感はない

IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができて いる	A. 十分にできている ■. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居後ひまわり 3 号館での生活をする中の会話から入居者本人の意向を確認し、楽しみを持って生活できるように支援している 但し、上手く意思を伝えることができない入居者についてはできていない			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることが できている	■. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前の状況については、基本情報提供書や訪問調査での内容を確認するとともに、ご家族からの情報も参考にして介護計画書を作成しケアを提供している			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることが できている	■. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の状況や変化があれば診察時に主治医に報告している 緊急時や急変時においても協力病院と連携し、入居者が不安なく生活できるように支援している		■. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	転倒防止のセンサーの設置や感染対策、全てにおいて安心できるようなケアの提供に努めている
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができて いる	A. 十分にできている ■. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前と同じとは言えないが、入居者は本人のペースで生活できていると思う			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことが できている	A. 十分にできている ■. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に禁止されているもの（危険物や火器）以外であれば持ち込みは自由としている		A. 十分にできている ■. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	あまり持ち込まれている入居者はいないが、バッグなどはなじみの物を使用している
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することが できている	A. 十分にできている B. ほぼできている ■. あまりできていない D. ほとんどできていない	危険がある為自由に外出は出来ないが、対応可能であれば一緒に外出や買い物に行っている			
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことが できている	■. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない	入居者個々の状態にあった役割や個人レクを提供している			

			D. ほとんどできていない				
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている ■. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者同士や職員と日常的に会話している 興味がある事や食べたいものなど会話の中から聞き出すことで日常のケアに活かしている		A. 充分にできている ■. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者が孤立しないように声掛けを行っている 気候が良ければ外気浴も行っている
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている ■. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の敬老会に参加しているが全ての入居者が参加できているわけではない 面会の制限はないのでご家族へ伝え知人や友人の面会を勧めている			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	■. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ひまわり 3 号館で生活する事で入居者、ご家族の安心に繋がっていると思う		■. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	安心して生活が出来るように引き続き努めていきたい

(参考様式4)

事業所名: グループホームひまわり3号館

目標達成計画

作成日: 令和 8年 3月 20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35 36	役割や楽しみ、レクのマンネリ化、外出の機会が少ない	入居者個々に応じた楽しみの提供	レクの見直し 外出の機会を増やす 介護計画書の見直し	12ヶ月
2	2	地域住民と入居者・職員との交流が限定的である	入居者と一緒に外出する機会を設ける	業務内容の見直しを行う 職員の意識を変えるように働きかける	12ヶ月
3	6	入居者に対しての言葉使いが適切でない場面を見かける	入居者に対して丁寧な対応を行う	入居者に対しての関わり方について勉強会を行う 虐待についてのアンケートを実施する 職員同士注意しあえるような関係づくりを行う	12ヶ月
4	7	成年後見制度や権利擁護事業についての理解が乏しい	理解を深める	勉強会の実施	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。